

## FRONTEOグループ概要

(2018年3月31日現在)



### FRONTEOグループ

株式会社FRONTEO	
FRONTEO USA, Inc.	ディスカバリ支援事業 拠点：ニューヨーク（本社）、ワシントンD.C.、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ヒューストン、ゴールドデン、ロンドン、マニラ
FRONTEO Korea, Inc.	ディスカバリ支援事業
FRONTEO Taiwan, Inc.	ディスカバリ支援事業
株式会社FRONTEOヘルスケア	医療データ解析システム開発・診断支援・ヘルスケア業務支援・製薬業界支援
Payment Card Forensics株式会社	クレジットカードの不正調査事業

### 会社情報

商号	株式会社FRONTEO (FRONTEO, Inc.)
証券コード	2158
設立	2003年8月
資本金	2,507,346千円
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
従業員数	362人

### 役員

代表取締役社長	守本正宏
取締役副社長	池上成朝
取締役	武田秀樹
取締役*1	舟橋信
取締役*1	桐澤寛興
常勤監査役*2	須藤邦博
監査役*2	安本隆晴
監査役*2	大久保圭

\*1社外取締役 \*2社外監査役



### ホームページのご案内

当社グループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。株主の皆さまからのご意見・ご質問もお受けしておりますのでメール等にてお気軽にお寄せください。  
「FRONTEO通信」に関するご意見もお待ちしております。



FRONTEO 検索

<http://www.fronteo.com>



## 株式会社FRONTEO

## FRONTEO通信

2018年3月期 事業報告  
2017年4月1日～2018年3月31日

### 特集

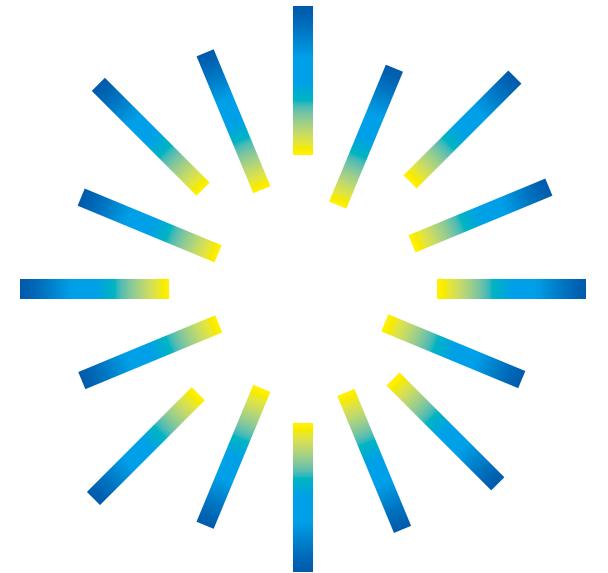
副社長が語る！リーガルテック事業の今後の戦略  
当社AIソリューションの広がり

トップメッセージ

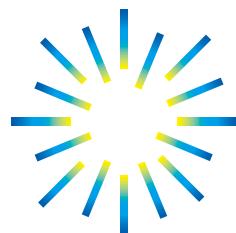
業績ハイライト・来期業績見通し

ニュースフラッシュ

FRONTEOラウンジ



# FRONTEO



FRONTEO

Corporate Brand (社名の意味)

FRONTEO

Front (英) 最先端 + eo (ラ) 前へ進む

Frontier Technology Organization の  
 アプリケーション (略語)  
 「進歩的かつ先端的な価値創造集団」の意

## FRONTEOの理念 Bright Value

### 1 私たちにとってのBright Value

#### 記録に埋もれた、リスクとチャンスを見逃さない

私たちが培った、エキスパートの知識、経験や判断を活用した最先端技術を駆使し、記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないための最適なソリューションを提供することにより、法律、医療、金融、知財、教育、人事等の分野において、必要かつ適切な情報に出会えるfairな世界の実現によってもたらされる価値です。

### 2 Bright Valueを実現するための6つの要素

<b>Bright Idea</b>	理念・発想	<b>Bright Technology</b>	テクノロジー
<b>Bright Culture</b>	文化	<b>Bright Business</b>	ビジネス
<b>Bright Service</b>	サービス	<b>Bright Humanity</b>	人間存立

### 3 Bright Valueを実現するためのモットー (行動指針)

#### 熱意・執念・感動

自らを動かす原動力は熱い心です。熱い心なくしては何事も成し遂げることはできません。しかし、それは一過性のもので意味がなく、同時にどのような困難にもくじけず、あきらめない強い執念が必要です。そして成し遂げたときの喜びや発見、自らの大きな成長に感動することにより、初めて周りの人の心も動かすことができるのです。

### 4 Bright Valueを実現する宣言

熱意・執念・感動をモットーに常に先進精鋭を目指し、FRONTEOのBright Valueを実現することを宣言します。

## 情報社会のフェアネスの実現に向けて

2018年、株式会社FRONTEOは創業15周年を迎えます。ここまで成長することができましたのもひとえに、15年間の皆さまのご支援とご愛顧によるものと心より感謝申し上げます。

当社は2003年創業以来、「日本企業の誇りを守る」を理念としてリーガルテック分野で活動してまいりました。そしてリーガルテック分野から金融、知財、人事、医療分野へと様々なフィールドへ事業を拡大し、着実に実績を積み上げ、多くの皆さまのご支持をいただくことができました。

データ解析技術の未熟さにより訴訟に必要な情報が見つからず窮地に立たされる企業を守りたい、世界にあふれた医療情報から患者一人ひとりに合った情報を届けたい、そのような熱意が日々当社の人工知能技術とサービスを磨いています。

このような活動を通じ、当社が実現したい“Bright Value”とは、これまで培ったデータ解析のノウハウと高度な人工知能技術によって「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さず、情報社会のフェアネスを実現する」ことであると改めて定義いたしました。今後も我々の“Bright Value”の実現、必要な人に必要な情報が与えられる未来の実現に向け、高まる技術への期待と多様化する社会のニーズに応えてまいります。

引き続き、FRONTEOグループを宜しくお願い申し上げます。

株式会社FRONTEO 代表取締役社長

特集 副社長が語る！リーガルテック事業の今後の戦略

米国で大規模な構造改革を実施し、本格的なグローバル営業戦略がスタートしたリーガルテック事業。2007年の米国法人設立から現在に至るまで、米国での事業体制拡大の指揮をとってきた当社取締役副社長兼FRONTEO USA CEO池上成朝が今後のリーガルテック事業についてお話しします。



確実な利益体質に転換するため米国での構造改革を実施。今後は米国におけるAI活用範囲を拡充させ、世界のディスカバリ市場でNo.1 企業を目指します。

取締役副社長兼FRONTEO USA President & CEO 池上 成朝

Q リーガルテック事業とFRONTEOの優位性について教えてください。

A 米国における訴訟現場で不利益を被るアジア企業を守りたいという熱意から生まれたリーガルテック事業。他社にないアジア言語解析技術と人工知能技術が強みです。

米国には被告・原告の双方が証拠を開示するディスカバリ（電子データでの証拠開示）という制度があります。グローバルに事業を展開しているアジア企業が米国で訴訟を起こされた場合、またはDOJ\*から調査が入った場合は米国の訴訟手続きに則って証拠開示をしなければなりません。

しかし代表の守本がFRONTEOを創業した当時、我々のようなディスカバリ支援企業はアジアに1社もありませんでした。そのためアジア企業の多くが米国のディスカバリ支援企業に証拠開示を任せ、企業の重要なデータを無防備に米国に送ってしまっていたり、使用するソフトウェアがアジア言語非対応であったため翻訳費用を払わねばならなかったりなど、多くのハンディキャップを抱えていました。

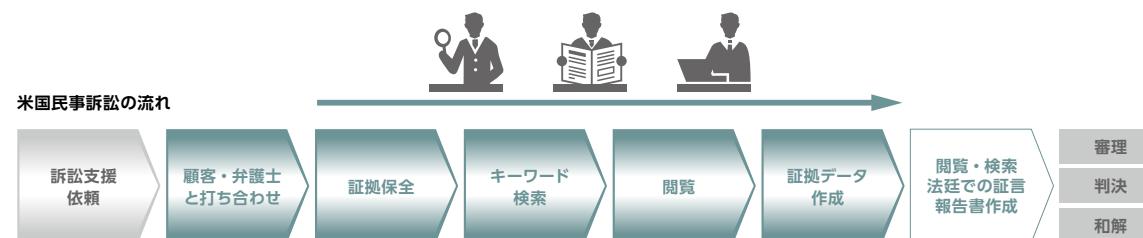
当社は、こうした不利益からアジア企業を守りたいとディスカバリのローカルサービス（対象企業の国内における作業）やアジア言語解析技術、そして証拠発見を効率化するための人工知能技術を磨いてきました。

\*Department of Justice、米国司法省

グローバル展開するアジア企業から当社が支持されるポイント



訴訟費用の70%を占めるといわれるディスカバリ作業

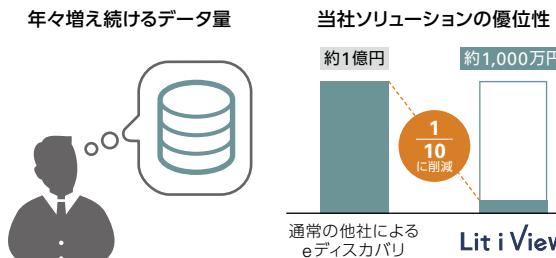


Q 事業環境について教えてください。

A ディスカバリの対象データ量が年々増える状況は、AIテクノロジーを強みとする当社には追い風となっています。

ITの進展により、ディスカバリ業界内のデータ量は、年率200%から300%も増量しているといわれています。

この状況は、AIテクノロジーに優れた当社にとっては追い風であり、膨れ上がり続けていくデータ処理を人海戦術で行う部分が多い他社に比べて、はるかに効率的かつ高いコストパフォーマンスで顧客へソリューションを提供することができます。



特集 副社長が語る！リーガルテック事業の今後の戦略

Q 今まで戦略的に米国での体制構築に力を入れてきたわけですが、現在の状況をどう考えていますか。

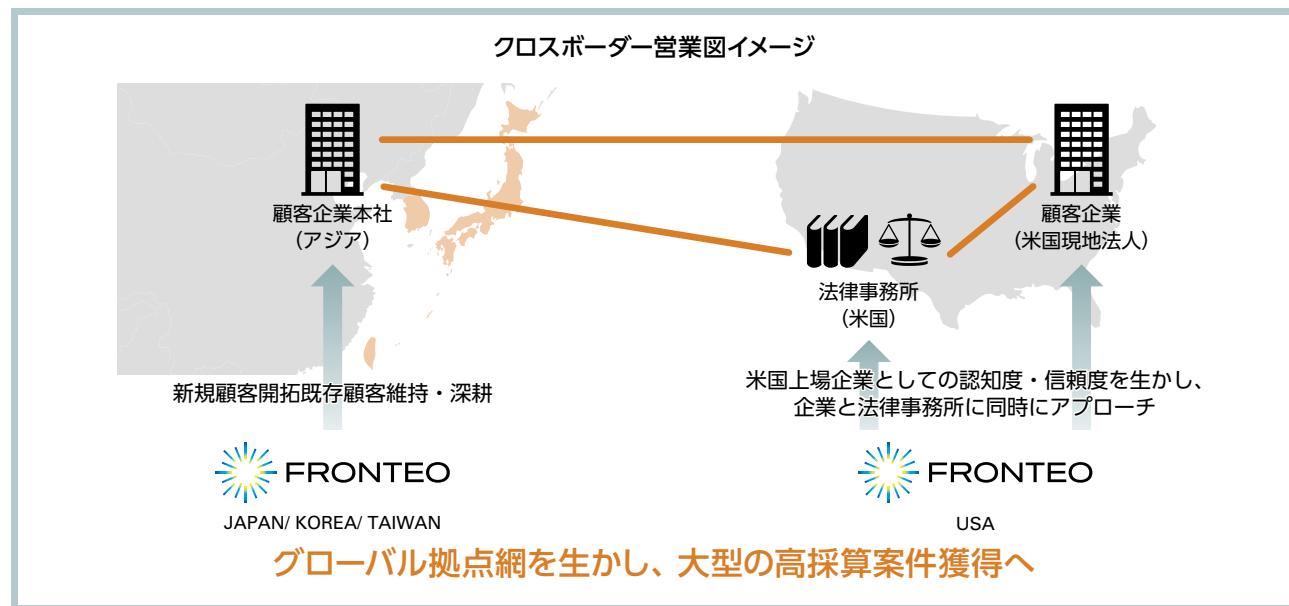
A 米国子会社の構造改革は完了。いよいよ事業拡大へ。

これは我々がディスカバリサービスを始めて気付いたことですが、アジア企業の多くは米国の訴訟となると米国の弁護士事務所へ頼りきりとなり、ディスカバリ支援企業の選定を任せてしまうため、我々がシェアを拡大していくには、アジア本社の法務担当への営業では限界がありました。

そういった背景から米国でFRONTEOというブランドを確立する必要があり、米国法人の設立、NASDAQ上場、米国で3社のM&Aを推進しました。

2018年3月期は、統合を行った米国子会社の構造改革としてコスト構造の見直し、拠点の統廃合、クロスボーダー営業（下図参照）体制の整備を急ピッチで行い、これにより利益体質が大幅に改善、また、今後のリーガルテック事業の飛躍にかかせないクロスボーダー営業の体制が整いました。

このクロスボーダー営業の成果は既にアジアの大型案件獲得としてあらわれ始めています。



Q 今後の成長戦略について教えてください。

A AI技術を活用したソリューションを拡充することで、グローバルで圧倒的なシェアを獲得してまいります。

2018年3月期の事業構造改革を経て、積極的な営業展開をグローバルでスタートすることができました。

今後はリーガルテック事業内における現在のAI活用に加えて、さらにAIソリューションを拡充させることにより、リーガルテック業界へテクノロジーの革命を起こします。サービスプラットフォームとして2010年からFRONTEOの訴訟支援サービスを支えてきたLit i View!についても、他のテクノロジーベンダーには見られないオールインワンの良さを保ったまま、スケーラビリティの向上による高速化や、ソフトウェアのUX上のフレキシビリティを上げるため第二世代の開発が進んでいます。他社にない独自のAIソリューションで、グローバルでの圧倒的なシェア獲得を目指してまいります。



特集 AIソリューションの広がり

当社の人工知能技術は、  
既に様々な分野にソリューションを提供、  
豊かな社会の発展に貢献しています。

訴訟

データの特定、保全からデータの処理、ドキュメントレビュー、提出データ作成等、ワンストップにサービス提供

官公庁

電磁的記録の改ざん・毀損等に関する分析や情報収集を支援。最新技術の活用やデータ取扱い、管理・報告等のカリキュラム提供も



医療・介護

ビッグデータ解析により、高度かつ良質な医療診断をサポート。また、現場の人材不足解消にも貢献

教育

育児

農業

製造業

商品サイトやHPなどに集まる消費者コメントを解析し、新商品開発やサービス改善をサポート。また、熟練技術者の暗黙知を含めた技能継承にも活用

コンプライアンス

営業日報や顧客との対話などの分析を通じ、コンプライアンス違反の危険性を事前に察知

特許・知財

先行技術や技術動向調査等に関する調査・分析業務を支援

業務改善

顧客との対話において、スタッフが気付いていない苦情や不満を抽出、顧客満足度向上に貢献

金融

交渉記録における金融商品販売時の各種法令の遵守や適合性の原則に沿った説明の実施有無等をチェック

Future

特集 AIソリューションの広がり

導入事例

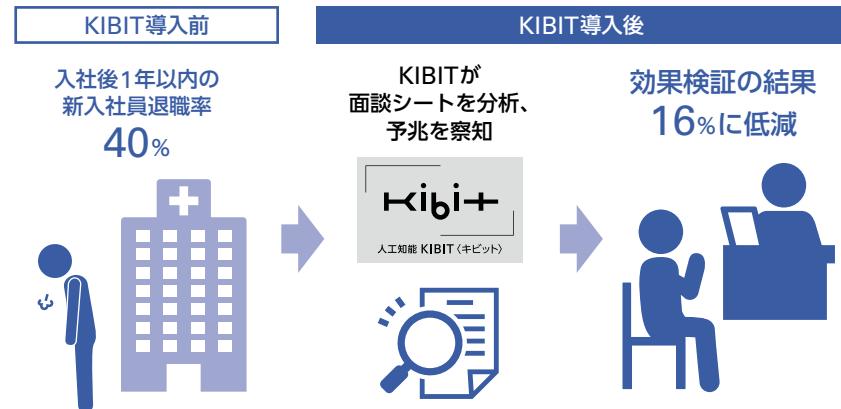
## 医療事務業界における高い退職率をAIの活用により低減

当社AIが人事面談シートを分析、退職の兆候を事前にキャッチし対象者をフォロー、貴重な人材確保へ

東証1部上場、売上高743億円（2018年3月期）の株式会社ソラスト様は、医療機関へ医療事務スタッフの派遣や専門業務の請負をされている業界を代表する企業様で、25,000名以上のスタッフを有しています。

同社では、業界内での信頼の厚さから常時多くの専門スタッフが入社されますが、限られた空間での勤務となる病院の仕事という特性上、同業他社と同様に、退職率が高いという課題を持たれていました。

この解決策として2017年5月より当社のAIソリューションをご導入いただき、効果検証実験を実施。コミュニケーションシートを分析し、退職リスクが高いと判定された社員に離職防止のフォローを行うことで、退職率を大幅に低下させることに成功しました。同社では今後、採用業務においてもKIBIT導入をご検討いただいております。当社のAIソリューションは、このように人事領域でも活躍の場を広げています。



東京都に本社を置く大手医療・介護・保育サービス企業。全国の医療機関から抜群の信頼を得ている「医療事務」をはじめ、お年寄り一人ひとりのニーズに合ったきめ細やかな「介護サービス」を首都圏、関西圏、名古屋地区で展開。また、地域の子育てを支援する多様なメニューと自宅のような安心感の「保育サービス」を東京都を中心に展開。また、これらの分野で働く方々のキャリアアップ支援も展開。



企業様ホームページ：www.solasto.co.jp/

TOPICS

## 金融機関で課題となっている記録処理の精度向上と時間短縮をAIで実現へ

金融庁設置の実証実験において大手メガバンクと協力、金融業界における記録チェック業務の生産性比較実験を推進。人手不足や働き方改革への貢献にも期待

2017年9月、金融庁は金融業界における業務運営の改善や働き方改革等の推進を目指し、「FinTech実証実験ハブ」を設置。このたび、課題解決に向けて当社AI「KIBIT」を採択いただきました。

金融機関では、日々お客さまとのやりとりに関する正確な記録チェックに多くの時間と人手が割かれています。600以上の都市銀行や地方銀行、証券会社などが抱えるこうした共通の課題に対し、「KIBIT」を活用してチェック精度を高めるとともに、スタッフの業務負荷軽減や働き方改革の実現に向けた試みがスタート。実験では、銀行や証券会社でのお客さまとの対話のチェックに関して、人のみの場合とAIを活用した場合とで、生産性や作業の標準化率、検出精度などを定量的に比較測定を行います。当社は今後もソリューション提供を通じ、社会的課題の解決に貢献してまいります。

参加金融機関： MUFUG 三菱UFJ銀行 リそな銀行 SMBC日興証券 横浜銀行

**データ準備**

教師データ (テキスト)

正解・不正解データ (書類・音声)

**KIBIT精度検証**

KIBITによる検証 比較試験に向け、対象観点で精度に問題がないことを確認

**比較試験の実施 (対照実験)**

	チェック者#1	チェック者#2	チェック者#3
現行の方法	データセット①	データセット②	データセット①
KIBIT活用	データセット②	データセット①	データセット②

各データセットが両方法でチェックされるとともに、確認者が同じデータを確認しないよう割当

1時間 終了!

2時間

正解数・確認件数・作業終了までの時間 (実行数) を測定

業績ハイライト・来期業績見通し

2018年3月期業績

米国子会社における構造改革費用計上などにより、当初計画未達も4期連続増収。  
リーガルテック・AIソリューション事業ともに事業は着実に進展し、営業黒字化。

リーガルテック事業においては、クロスボーダー営業体制実施による大型案件獲得、および、第2四半期より本社主導で進めてきた米国子会社の構造改革の結果、増収・営業黒字化を達成。AIソリューション事業においても、ビジネスインテリジェンス分野の牽引により売上高は前期比2.9倍の増収、利益面も下半期より営業黒字化に成功。

全社売上高に関しては、米国子会社において一時的に発生した構造改革費用7.8億円の特別損失により計画未達も4期連続、前期比9.0%増収となる122億円で着地。

2019年3月期業績見通し

売上高

138億円 (前期比 113.0%)

営業利益

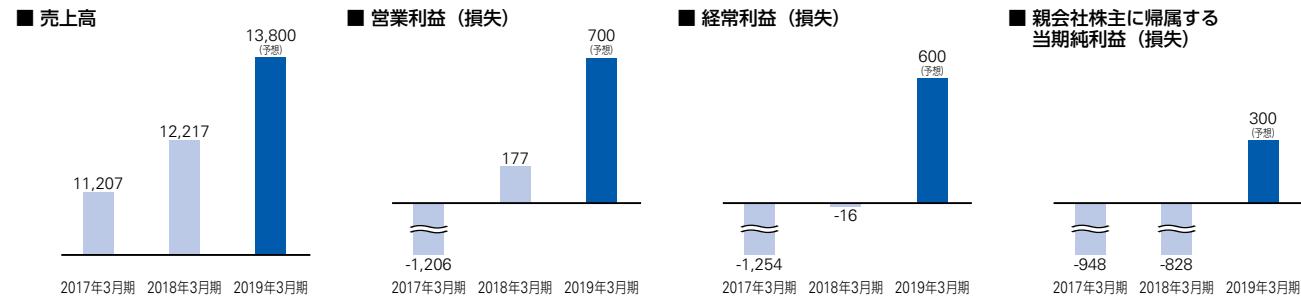
7.0億円 (前期比 393.9%)

積極的な事業展開推進と経営基盤強化により5期連続の増収、営業利益4倍、最終利益の黒字化。

リーガルテック、AIソリューションの2事業ともに旺盛な需要を取り込むべく、積極的な事業展開を引き続き推進するとともに、一層の飛躍のための基盤強化に向け組織強化と要員増強、人材育成に注力いたします。また、前期に実行した構造改革による効果も加え、5期連続増収となる売上高138億円（前期比13.0%増）、営業利益は7億円（前期比293.9%増）、当期純利益3億円の見通し。

連結業績ハイライト

(単位：百万円)



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料などさらに詳しい決算情報をご覧になれます  
<http://www.fronteo.com/ir/> フロンテオ IR 検索



ニュースフラッシュ

1年間の事業活動トピックスをご紹介します

2017.11 デジタルコミュニケーション分野

Kihiroに「見守り機能」を追加、12月20日より発売



2017.08 ビジネスインテリジェンス分野

コミュニケーションロボット  
Kihiroの法人向けパッケージ  
「Kihiro for Biz」を  
販売開始



2017.06 ビジネスインテリジェンス分野

人工知能エンジンKIBIT搭載  
製品の導入社数が50社を超える



2017.05 ヘルスケア分野

愛知医科大学、日本臓器製薬、  
FRONTEOヘルスケア  
「疼痛診療支援AIシステム」  
の実現に向けた研究を開始



4月



既存の顧客企業さま (一例)



新規の顧客企業さま (一例)



## FRONTEOラウンジ

最新TOPICSや株主・投資家の皆さまからのご質問への回答、注力している取り組みなどをご紹介します。

15th ANNIVERSARY

おかげさまで、当社は2018年8月に創業15周年を迎えます。これもひとえに株主の皆さま、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの日頃のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

リーガルテック事業で培ったテクノロジーをAIに進化させ、事業を拡張。  
創業から15年を迎え、成長基盤の整備が完了。

リーガルテック事業、AIソリューション事業ともに攻めのステージへ

## ■ AIソリューション事業



先行投資

AI  
黒字化

'15 KIBIT リリース

## ■ リーガルテック事業



事業拡大投資

FUSA  
構造改革'13 NASDAQ  
上場

M&amp;A

TechLaw SOLUTIONS evolvediscovery essential DISCOVERY

子会社3社統合

北米の東西両地域に  
事業基盤を確立

## AIソリューション事業加速

用途拡大（金融・知財・HR）  
マーケティングパートナー育成  
ヘルスケア製品開発に向けた体制整備

15周年

## リーガルテック事業拡大

アジア企業の大口案件積み上げ  
AI活用範囲の拡充、Lit i View強化

創業

2003.8 2014.3 2015.3 2016.3 2017.3 2018.3

'07 東京証券取引所  
マザーズへ上場NEXT  
STAGE

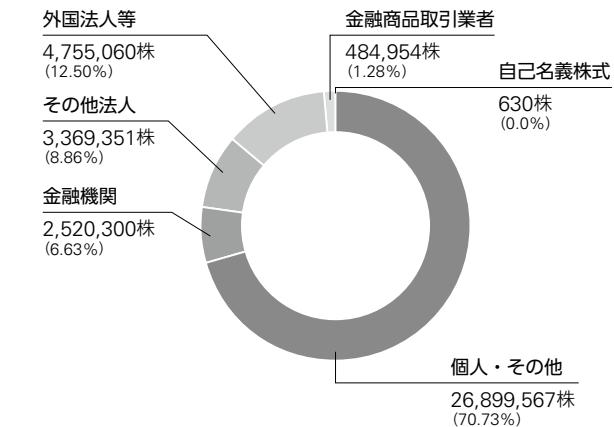
## 株式の情報

(2018年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,029,862株
株主数	17,272名

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ（2007年6月27日上場） 米国ナスダック（2013年5月16日上場）
銘柄、証券コード	株式会社FRONTEO、2158
株式の売買単位	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
守本 正宏	6,920,400	18.19
株式会社フォーカスシステムズ 代表取締役社長 森 啓一	2,984,720	7.84
池上 成朝	2,722,800	7.15
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	1,722,400	4.52
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社（信託口） 取締役社長 桑名 康夫	991,500	2.60
THE BANK OF NEW YORK 133524	619,700	1.62
第一生命保険株式会社 代表取締役社長 稲垣 精二	545,900	1.43
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口） 取締役社長 伊藤 尚志	527,300	1.38
MSIP CLIENT SECURITIES	508,701	1.33
神林 忠弘	429,800	1.13

小数点以下第3位切り捨て

## 株式諸手続きのご案内

①住所、氏名、配当金受け取り方法の変更など、各種手続きに関するお問い合わせ  
お取引の証券会社までお問合せください。

②特別口座で株式を管理されている株主様のお手続きに関するお問い合わせ  
弊社株式の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00  
0120-232-711